

平成 22 年 5 月 17 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイルート指定等について（案）

- シーニックバイウェイ北海道実施要綱第 18 条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

ル ー ト 名：トカプチ雄大空間

関係市町村：帯広市、音更町、芽室町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町（7 市町村）

提 案 者：「トカプチ雄大空間」運営代表者会議

なお、上記指定・登録を行うにあたって、別紙の通り意見を付記する。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会 意見 (案)

■シーニックバイウェイルート

「十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間」に対する意見

● 景観資源・地域資源の優位性

母なる川・十勝川「トカプチ」(アイヌ語で“乳房”の意。二つに分かれた河口を、無尽の乳汁を出すことになぞらえる)の下に広がる当該活動エリアは、その雄大な自然と農業などの人々の営みが調和した景観を有し、国内はもとより、アジアや欧米の視点からも優位性をもつ景観資源として、内外の観光客を惹きつける魅力がある。また、先住民族の歴史文化や開拓者精神を背景に、豊かな農業を基盤としてルート内に展開する食、文化、歴史、レクリエーションは、市街地と郊外地の周遊を促し、地域の活性化を支える重要な地域資源となっている。

さらに今後は、自然や環境と共生する十勝で生まれ、ホスピタリティに溢れた「人」とそのライフスタイルこそ大切な地域資源であるとの認識のもと、移住や二地域居住等も含む「様々な交流」を促す取組みに繋げていくことが期待される。また、「寒く、明るい冬」は大いなる観光資源であることから、冬期のアクティビティに積極的に活用することが望まれる。

一方、市街地や農村集落の景観は自然景観に比べ見劣りしていることから、市街地等の景観改善に向けて、行政や企業等と幅広く連携した取組みを行うことが望まれる。

● 地域の魅力向上、ルートのブランド化

実業を中心としたルート活動は、シーニックバイウェイ北海道が目指す地域産業の振興に資する新たな展開として評価できる。また、イエローリボンプロジェクト等の市民参加の活動や十勝シーニックバイウェイとしての隣接ルートと連携した取組も行われており、ルート活動としての着実な深化が見られる。

今後は、「食と癒し」のテーマをどのように表現していくかを追求しながら、隣接ルートとの緊密な連携と当ルート独自のブランド力の向上を進めていくこと、女性及び若い世代など幅広い市民を積極的に巻き込むことや産学官民の取組を試行することが期待される。また、携帯電話サイトを含むウェブページの作成や首都圏でのPR活動等、様々な取り組みがみられる情報発信・プロモーションについては、隣接ルートとも連携し、さらにダイナミックで先駆的な取組みを目指すこと等、ルート活動の可能性と持続性を高めていくことが期待される。